第１学年　英語科学習指導案

１　単元名（題材名）　New Crown 1　Lesson6　My Family

２　単元の目標

・間違うことを恐れず、質問をして、分かったことについて伝える会話に取り組んでいる。(関心・意欲・態度)
・関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。（表現）
・３人称単数現在形を含む家族や友人の紹介文を読んで、その内容を読み取ることができる。（理解）
・３人称単数現在形に関する知識を身につけている。（言語文化の知識・理解）

３　単元の指導計画（全８時間）

第１次　ALT の先生からのメッセージビデオと学習課題の提示
　　三人称・単数・現在のＳの用法（肯定文）の導入と本文の内容理解。（2時間）
第２次　三人称・単数・現在のＳの用法（疑問文とその答え方）の導入と本文の内容理解。（2時間）
第３次　三人称・単数・現在のＳ（What の疑問文と否定文）の導入と本文の内容を理解。（２時間）
第４次　まとめと練習：①ALT の先生に中学校の先生の特徴を紹介。（ペア練習）＜本時＞・・・７／８
　　②ALT の先生に中学校の先生の特徴を紹介。（実践）（２時間）

４　本時の計画（７時間目／全８時間）

（１）本時のねらい

三人称・単数・現在のＳの用法について理解を深め、身近な人物や事柄についてそれを紹介したり、尋ねたりする言語活動を通して、即興的に３０語程度の英語を使ってやり取りすることができる。

（２）本時の構想（学習内容、活動や手立て、目指す生徒の姿）

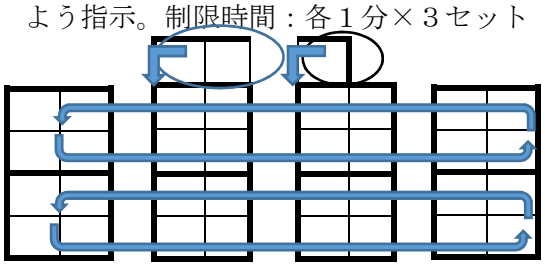
本時はこれまで学習してきたまとめの段階にあたる。既習の文法事項を活用し、特に interaction の要素を盛り込んだ活動を設定し、授業を展開する。相手に英語が伝わることの楽しさや、ペアやグループでの学び合いを通し課題を解決することの喜びが実感されるよう場面を設定する。提示された課題に対し、互いに英語で即興で答える活動を通し、対話を続けるための工夫を考えさせたい。その過程で出た疑問や分からないことを全体で共有する場面を設け、全体で共通理解しながら解決していけるように支援を行っていきたい。生徒の達成感を更に引き出すことをねらい、全体での発表の場面も設けたい。

（３）本時のねらいを達成するための手立て

①帯活動として「すらすら英会話」をペアで行う。話す力の基礎を定着させることをねらう。
②次にトピックを与え１分間チャットを行う。聞き手は相手の英語を聞きながら、ワードカウンターを使って語数を数え、活動後に報告。終わったら交代して行う。
③活動の必然性をもたせるために、学習課題の提示の後に「中学校の先生方について教えてほしい。」という内容の ALT からのメッセージ動画を流し、生徒の活動への意欲を高める。
④情報カードをもとに英語でやり取りができる活動を設定。グループ内で情報をシェアし、練習。練習後、他のグループの人とペアを作って１分間チャットを行う。
⑤振り返りでは事前に示しておいたルーブリックをもとに自己評価し、本時での自分たちのできたことと、今後の課題に気付かせる。

（４）本時の展開

学習活動	教師の働きかけと予想される生徒の反応	■評価規準・○留意点
1 Introduction	T1 授業の挨拶 T2 単元のゴールと学習課題の確認 学習課題：ＡＬＴの先生に中学校の先生方を英語で伝えるには。	○元気よく発音できるよう支援
(5分)	T3 前時に見せた、ALT の先生のビデオレター（中学校の先生方を紹介してほしい）について触れ、ALT の先生からの５つのミッションを確認。 ①What does (he/she) teach? ②Where does (he/she) live? ③What sports does (he/she) play? ④What Japanese food does (he/she) like? ⑤What TV program does (he/she) watch? ＊Extra question：Does (he/she) like beer?	まとめ： 語数を伸ばす重要ポイント３を提示 ①プラス１　②聞き返し　③リアクション

2 Warm Up (10分)	T4 ウォームアップの帯活動（すらすら英会話）の指示。 S1 全員起立し、隣ペアとじゃんけんをする。勝った方が Question 負けた方が answer の役割分担で１分以内に対話が完了するよう指示をする。終わったら交代して行う。これを練習で１セット行う。 T5 デモンストレーションで全体の前で行ってくれる生徒をボランティアで募集する。 S2 全体の前で発表する。１分以内に終了出来るよう取り組む。	○帯活動では、アイコンタクトができているか、ペアの組み合わせに注意しながら回る。 ○残量がわかるよう、モニターにタイマーを設定して行う。早く終わった生徒にも会話を続けるよう指示する。 ■挙手により達成度を確認。デモンストレーションでのペアについて、良かった点を出し、それぞれの評価につなげる。
3 Task1 １分間チャットで人物紹介 (10分)	T6 スラスラ英会話を使って、１分間対話を試みる。＜Teacher & Student によるペアワーク＞ S3 モデルをもとに生徒同士でのやり取りを１セット行う。	○生徒のもっている情報を引き出せるよう支援を行う。この後の活動のモデルとなるやり取りを行う。
4 Task2 中学校の先生紹介 (20分)	T7 ルーブリックの提示 T8 小グループを作るように指示し、各グループで事前に調べた情報カードを出す。 S4 情報カードをもとに、ヒントとなる英文を作って練習する。 T9 ペアでのローテーションで情報を伝え合うよう指示。制限時間：各１分×３セット  S5 グループの役割分担に従って、それぞれがやり取りしながら情報を伝え合う。 T10 活動の終了を告げ、元に戻るよう指示。 T11 ボランティア生徒を募り、発表させ、次の時間に ALT の先生に伝えられるかどうか確認する。 T12 最後に活動の様子から良かった点を確認し、終了する。	評価基準② A：必要な情報を、正しい英文で相手に伝えることができる。 B:必要な情報を相手に伝えることができる。 支援計画② B 生徒：適切な文法事項で伝えられるようアドバイスする。 C 生徒：例文を示し、口頭練習の後英文を伝えられるよう支援をする。 ○情報カードから英文まで導けるよう英文作成のフォーマットをすらすら英会話の例文をもとに支援する。 ○文法的なミスよりも情報が伝わっているかを重視させる。 ○聞き手側にも質問させるなど、やり取りになるよう支援する。 ■ボランティア生徒の発表をもとに、具体的に評価活動ができるよう支援する。
5 ルーブリック評価 (3分)	S9 ルーブリックによる評価を行い、自分のできている点と今後の課題を明確にする	■できるだけ肯定的な評価ができるようよい点を見つけ伝える。
6 振り返り (2分)	○今日の授業の振り返りを記入する。	

（５）**本時の評価**

本時の評価ではルーブリックにより振り返りを行う。基準は以下の通り。

ルーブリック【話すこと interaction】

得点	S（４点）	A （３点）	B （２点）	C （１点）
①Fluency （発話語数）	４０語以上のまとまりのある内容を対話の中に盛り込んでいる。	３０語以上の英文で分かりやすく説明している。	２０語以上の英文で自分の伝えたいことを半分以上は伝えている。	半分には満たないが、、自分の伝えたいことを説明している。
②Delivery （伝え方）	重要ポイントを３つすべて使って、アイコンタクトをしながら対話を継続している。	重要ポイントを２つ使ってアイコンタクトをしながら対話を継続している。	重要ポイントを１つ使ってアイコンタクトをしながら対話を継続している。	アイコンタクトをしながら対話を継続している。